

祝 創立70周年
令和2年度 4月号



咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <http://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



令和2年度のスタートに

園長 北村 恵

正門脇の山桜がちらほら咲き始めました。2020年度のスタートは、例年よりも遅くなっているので、入園式までは咲いてほしいと願っています。

令和2年度の大正幼稚園は、年少うさぎ組20名、年中ぱんだ組16名、年長ぞう組21名、合計57名でのスタートとなりました。楽しみにしていた創立70周年の年度の始まりです。様々な問題があり、例年とは少し違うスタートとなりましたが、「咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来」を合言葉に周年に関わる、園児、保護者、職員の笑顔の花が満開になる一年にしたいと思っています。職員の異動もありましたが、新たなメンバーで力を合わせて子供たちの成長のために力を尽くしていきます。今年度も、大正幼稚園の教育保育にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、2月末から続くコロナウィルスの感染拡大は、広がる一方で収束の兆しが見えず、日々、心が痛むニュースばかりが耳に入ります。私たち教職員も、子供たちや保護者の皆様、園の関係者の皆様にはお変わりのないことを心から願っています。先日、入園式の日程変更について新入園児の保護者の方へ電話連絡した時に、「先生方も大変ですね。どうぞ、お気を付けてください。」と、皆様から言葉をかけられ、本当にありがたく思いました。

インターネット上では、各国の言葉で「家にいて!」「Stay home!」という言葉があふれています。今は本当に非常事態です。少し気を抜いただけで、自分も周りの人も危険な目に合わせてしまいます。自分が誰かにうつしてしまうかもしれない、と考えて行動することは大切なことです。けれども、こんな時だからこそ、家にいるわけにはいかず、有効な対抗手段のない、目に見えないウィルスとまさに命を懸けて戦ってくださっている医療従事者の方が、いらっしゃることも忘れてはならないことだと思っています。永寿総合病院の話題は連日のようにニュースになっています。私たちのために、ウィルスと戦ってくれている人が同じ台東区にいることを、どうか、子供たちにも分かりやすく伝えてあげてください。

日々流れているニュースや大人の会話の中から、「コロナ」という言葉が繰り返されることで、子供たちなりに不安やストレスを感じていることと思います。東日本大震災の時も、連日流される津波のニュースにストレスを感じて、園で「津波ごっこ」を始めたことを思い出します。それも、子供たちにとっては、心の平静を保つための一つの方法でした。子供は自分では、まだうまくストレスを発散したり、気分転換したりすることはできません。大人の手助けが必要です。時には散歩をしながら草花を見たり、空を見上げたり、音楽を聞いたり、思いきり笑い転げたりして、上手に気分転換をさせてあげてください。

今回のことから、子供たちがこの先の未来を生きていくための大切な知恵を学んでくれることを、心から願っています。うまくいかないときには、どうぞいつでも園にご相談ください。みんなで、助け合いながら今の状態を乗り切っていきましょう。